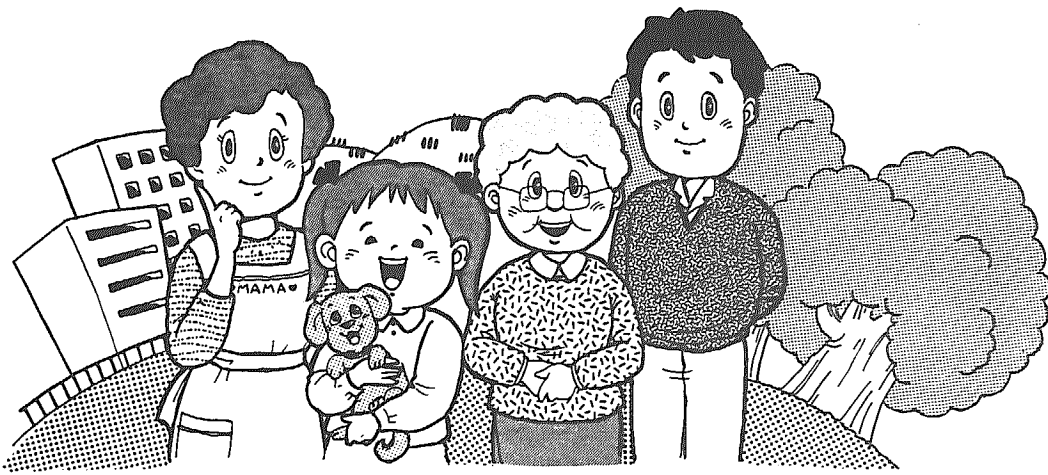


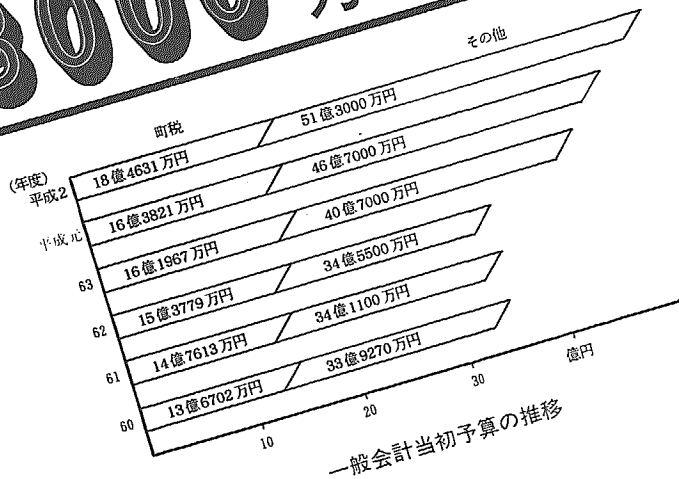
# 新年度の町づくり一般会計51億円の使いみち。



## 平成二年度 一般会計当初予算

# 51億3000万円

町民1人あたりでは  
21万9616円  
(2月末日現在の人口で計算)



### 前年度比10%の積極予算

歳出

一般会計予算	前年度	平成2年度	平成元年度
◆総額	46億7000万円	51億3000万円	46億7000万円
前年度比		+9.9%	+14.7%
町民1人あたりでは	20万1763円	21万9616円	20万1763円
◆自主財源	24億5879万円	29億7283万円	24億5879万円
歳入の中の割合	57.9%	58.0%	57.9%
◆町税	16億3821万円	18億4631万円	16億3821万円
歳入の中の割合	35.1%	36.0%	35.1%
町民1人あたりでは	7万777円	7万9041円	7万777円
◆町債(借入)	6億6700万円	6億5390万円	6億6700万円
歳入の中の割合	14.3%	12.7%	14.3%
◆地方交付税	9億8200万円	8億4200万円	9億8200万円
歳入の中の割合	21.0%	16.4%	21.0%
◆人件費	12億9514万円	13億6512万円	12億9514万円
歳出の中の割合	27.7%	26.6%	27.7%
◆公債費(借金の返済)	4億3545万円	4億5266万円	4億3545万円
歳出の中の割合	9.3%	8.8%	9.3%
◆普通建設事業費	15億3815万円	17億7772万円	15億3815万円
歳出の中の割合	32.9%	34.7%	32.9%

町へは毎年、町民の皆さんからいただいた町税など多額のお金が入ります。それらのお金は町民の皆さんのために有効に使わなくてはなりません。老人福祉、学校教育、産業の振興、道路・下水の整備など。これらのお金の入り方と使いみちの計画を予算といいますが、平成二年度予算が三月初旬に承認されたのでお知らせします。

一般会計予算とは、町民の皆さんからいただいた町税や国庫の補助金などを、町がどのように使うかを年度初めに決めたものです。その年度(4月1日～翌年3月31日)の町政の基本となるものです。年度途中で事業を変更したり、予定した町税や補助金が増減

した場合は補正予算が組まれます。平成2年度の一般会計当初予算は総額51億3000万円、前年度より4億6000万円の増となっています。伸び率は9.9%。町民一人あたりでは21万9616円となり前年度より1万7853円の増で

主な事業では、継続するものとして町道の整備、新規事業として老人福祉センター建設が大きなものです。

性質別に予算を見ると、経常的経費といわれる人件費や公債費(町の借金の返済)、物件費など必要不可欠な経費が59%をしめています。普通建設事業費は17億7731万円と見積もりました。前年度より2億811万円の増です。町税のうち固定資産税は9億7790万円(前年度より1億7005万円増)、住宅増などを考慮しています。町民税は7億6539万円を見込みました(前年度より3656万円増)。

### 町税大きく伸び、町債は減

歳入

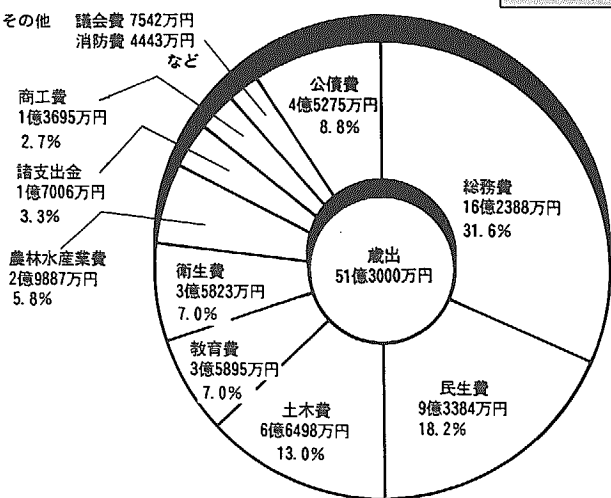
歳入では、町税を18億4631万円と見込みました。前年度より2億811万円の増です。町税のうち固定資産税は9億7790万円(前年度より1億7005万円増)、住宅増などを考慮しています。町民税は7億6539万円を見込みました(前年度より3656万円増)。

繰入金(町の貯蓄)を取り崩したものです。5億7760万円を計上しました。このうち財政調整基金から2億1800万円、福祉施設整備基金から1億4600万円を繰り入れました。分担金及び負担金はほとんどが保育料です。財産収入は主に基金の利子と土地売却収入。諸収入は商工費貸付金の元利収入や預金利子などです。

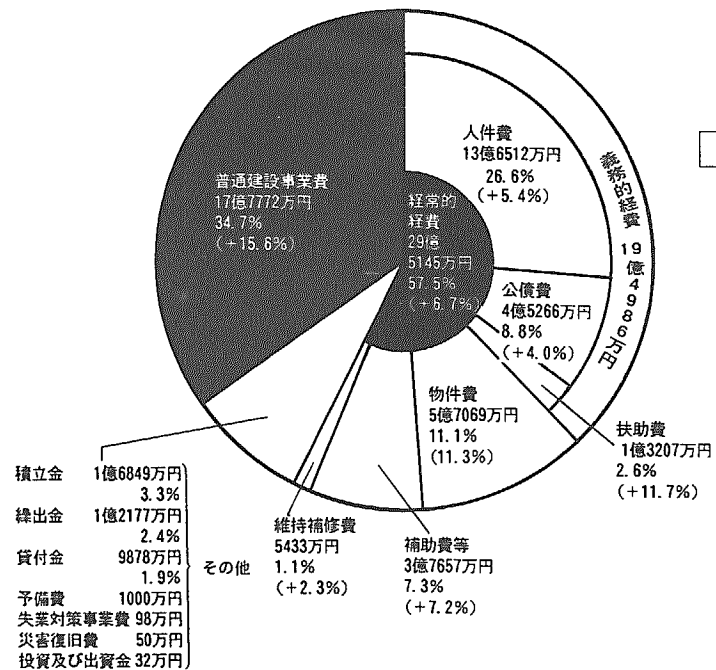
以上の依存財源は前年度より5594万円の減です。

### 51億3000万円の内訳

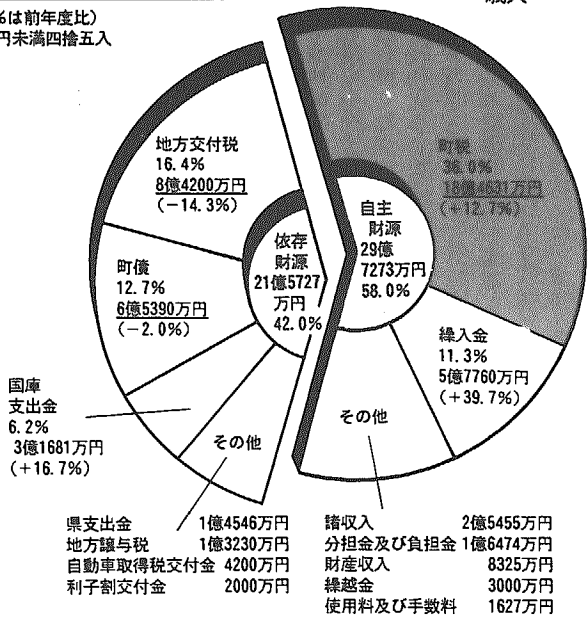
(±%は前年度比)  
1万円未満四捨五入



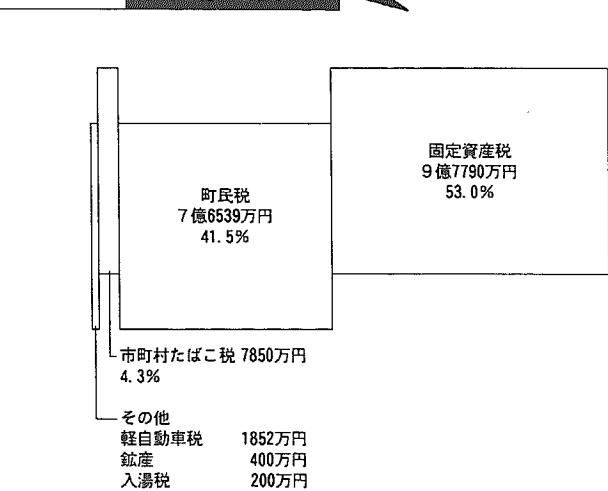
### 性質別歳出



### 歳入



### 町税の内訳



以上町だけで賄える自主

以上町だけで賄える自主